

□□□□□□□□□□□□■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■□□□□□□□□□□□□

平成 20 年

メールマガジン 『日本人の98%は知らないタイ株投資!』

Home Page はこちら 「タイ株(アジア株)と海外投資」 <http://thaikabu.net/>
Blog はこちら 「アジア株(タイ株)と海外投資」 <http://toatoa.jugem.jp/>

発行者 阿部俊之 (タイ・日本在住)

□□□□□□□□□□□□■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■□□□□□□□□□□□□

タイ株・タイ経済情報 第38号

今回初めて登録して下さった皆様ありがとうございます。

毎号読んでいただいている皆様。ありがとうございます。

タイ株ブログ運営しています、阿部です。

昼間のバンコクはフライパンの上にいるような暑さになっています。
しかし夜になると不思議と涼しいのです。

東京でしたら夜でも暑苦しい熱帯夜が続くのに
不思議な感じがします。

一部地域によっては夜でも冷房を付けっぱなしにしないと暑くて敵わないと言う方もいらっしゃるようですが、
管理人の住む場所は川沿いなために、夜はかなり涼しく過ごせます。
(しかし日本人が少なく不便な場所です)

タイではもうじき「ソクラーン」と呼ばれるタイのお正月です。
4月には日本で言うゴールデンウィークのように
長い連休があり、タイ人は一斉に帰省や海外旅行のシーズンになります。

そのため、日本帰国のチケットを取るのも相当大変でした。(この辺りの話は次号にて。)

<タイ株管理人よりお知らせです。>
4月に入りまして、講演会の打ち合わせ、各企業の訪問のため、
4月6日(日)より4月15日(土)、

4月25日(金)より5月11日(日)まで日本へ出張予定でございます。

もしかしたら4月末にはセミナー開催をいくつかする可能性があります。
(GW中は日本にいますので、バンコクでお会いすることができないと思います。)

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

ご了承くださいませ。)

時折突然お電話で「バンコク来たのでお会いしたい」と言う
お話をいただくことがあるので、
事前にメールなどで御連絡をいただくとたいへんありがたいです。

どの辺りに気をつけたほうがいいのか、
アドバイス、ご助言がバンコク訪問前にできるのでご希望の方は
なるべく事前に問い合わせいただくと幸いです。

そして有料会員希望の方のお申し込みも受付しました。
御申し込みされた皆様、ありがとうございます。
次回募集はおそらく6ヵ月後になります。

それまではブログやこちらで御申し込み可能です。

https://www.gladvs.com/gla/free_trial/thai_otameshi/index.php

それでは第38号に入ります。どうぞ宜しくお願い致します。
(※ こちらのメールマガジンは転送可となっております。
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にどんどんお伝え下さい。)

何か新しいことを始めようと思われている友人の方、
タイへ旅行計画を立てられている友人の方など

そのような方にもブログとメールマガジンはもしかしたら
役に立つかもしれません。

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

過去のバックナンバーなどをご覧いただくとある程度分かると思うのですが、

これからはご質問が多かったものを順に解説していこうと思います。

多かった質問は続いて、「マーケットの大きさ」です。

Q タイ株式市場はどのくらいの大きさでしょうか??
日本株のように安心して取引できるのでしょうか?

A 最近、日本のマーケットが大きく下げましたが、
それでも日本の株式市場、例を挙げると東証一部の時価総額は
425兆5035億6900万円となっています。
二部とマザーズを合わせると432兆8776億1300万円。
〈東証月末時価総額のデータより引用。2008年2月29日のデータ〉

<http://www.tse.or.jp/index.html>

「東京証券取引所のページ」

翻ってタイの株式時価総額を調べてみましょう。
2008年3月28日のタイ証券取引所の時価総額は
6兆4467億7934万バーツとなっています。
読者の方には円に直さないと「一体いくらなんだろう？」となりますので、
1バーツ=3.21円で計算してみます。

すると20兆6941億6059円になりました。
タイ証券取引所はおおまかに判断すると東証一部の21分の1と言う計算になります。
(2008年2・3月の時点で)

現在為替が大きく動いているので大体の判断になりますが、東証二部、
マザーズより大きな株式市場になります。

安心して取引できるかどうかは個々の判断にもよりますが、
タイ証券取引所は国際会計基準 (IAS) を採用して、タイ企業に対しても
この会計処理・報告を求めています。

それともう一つタイ証券取引所では
P/Eの計算式で変更を発表しています。

マーケットオーバービュー(2008年2月28日現在)を参照していただくと分かるのですが、

Approach 1 (currently use)
P/E (times) 11.97 P/BV (times) 1.87 となっていて、

Approach 2 (used since May 2, 08)
P/E (times) 15.12 P/BV (times) 1.89 となっています。

これは
今までタイ証券取引所は利益の出た企業のみでの計算でP/Eを算出していましたが、
今後はすべての企業を含めた World Federation of Exchanges (WFE) 方式に改めます。

1年間は旧式と新方式を併記するとしています。
そのため、上場企業のP/Eは現在の11.97倍から15.12倍に上昇

しています。

<http://www.set.or.th/set/marketsummary.do?language=en&country=US>

□□ No2 タイ株上級者編です ■■

タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● アマタ・コーポレーション(AMATA) 038 です。 ○○

タイ国で有数の工業団地経営の大手企業です。

こちらはタイ国内において工業団地経営において
チョンブリ県にタイ最大の工業団地「アマタナコン工業団地」を管理・経営しています。
その他にもタイの東南部ラヨーン県にある「アマタ・シティ工業団地」、
ベトナムにも「アマタ・シティ・ピエンホア工業団地」を経営しています。

アマタナコン工業団地はバンナトラート通りを進み、バンコク市内と
レムチャバン国際貿易港の中間的な位置にあり、
土地の利便性が良い場所に構えています。工場建設、土地販売以外にも
商業区域の開発、発電事業、水利事業なども手掛けています。

管理人が最初に訪れた時から、現在を見るに、それはえらい変わりようです。
ゴルフ場も出来ていて、学校もあり、日本の有名企業の看板がずらりと並びます。

クルマで到着して一回りすると日本と錯覚するくらい有名企業のオンパレードです。
日本人も常駐していて、多くの日系企業のタイへの進出サポート相談、
土地販売、工場建設誘致などを行っています。

アマタナコンやイースタンシーボードの話、工業団地のお話は
たくさんあるのですが少しタイ株の話題とずれてしまうので省略です。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

2008年3月、サムック新政権は大量輸送機関の早期建設の
実施計画を発表しています。
さらに、大型減税の実施、物価抑制政策に続いてタイ国内インフラ整備を
早めていくとしています。
一方で不採算・非効率なものも減らしていくようです。

サンティ運輸相は、
タイ国内で6つの空港を運営、管理をしている
空港運営会社エアポート・オブ・タイランド（AOT）へ、
現在格安航空会社ノックエアー、ワントューゴーなどが利用している
ドンムアン空港の使用の早期中止を要請しています。

現在バンコクに2つ存在する大型空港を
スワナブーム新国際空港に統合し、効率化と利便性を高めるとしています。

スワナブーム空港がOPENした後は
訪問していないドンムアン空港ですが、
いよいよ無くなってしまおうのであれば今のうちに行ってみるのも面白いかもしれません。

ドンムアン空港は独特の感じがします。

しかし再び復活？する可能性もあるかもしれませんが・・・。

□□ No 4 追伸です ■■

その1

実は休日を利用し不動産物件リサーチをしてきましたが
ますます謎が深まるばかりなのです。

今後大量輸送機関も完成し、いままでバスしか通勤不可能だったものが
高架モノレールや地下鉄でオフィスまで通えるようになると
コンドミニアムの需要もさらに高まる気がしますが、どうなのでしょう。

タイ株では外資規制で外国人投資家が敬遠してたタイは、
もともとが下がっていたために、他国ほど影響を受けていない状況です。

不動産価格もシンガポール、香港などに比べて上がっていないのですが、
それでもジョンラサールのレポートなどではネガティブ評価（07年末時点）
になっていました。
不動産マーケットは買いなのか？不動産リサーチは続けていく予定です。

その2

メルマガ読者数が3000人に到達しました。 ありがとうございます。
と言っていたらまた読者数が増加しています。
3070人の読者の一人一人の方に感謝です。

前回のお知らせ

『 2008 年度版 今注目のタイ株式ガイド徹底解説 』

の特別キャンペーンは
はおかげさまで締め切り人数に到達しましたので終了させていただきました。

「間に合わなかった！」

と思われた方は問い合わせのページよりお申込み希望と書いて頂ければ数人はご対応可能です。

どうぞよろしく願いいたします。

■■■ 2008 年度版『「今注目のタイ株式徹底ガイド」』が出来ました ! ■■■

タイ株関連の書籍を 4 冊執筆した著者が
徹底的にタイの現地で集めた、タイ株リサーチ情報を
毎週メールで、毎月郵送で、お届けします。

いままで分かりにくかったタイ経済の情報、日本ではなかなか得にくい情報を

月一回、ご自宅へお届け。毎週 E メールでもご案内します。

今回 1 週間 (3/23~30) の限定で、2008 年 1 月、2 月、3 月分までの
詳細内容をまとめた記事も特別プレゼントでのお届けです。

<http://www.thaistock.jp/>

一番下のお申し込みで「特別キャンペーン利用」とお書きください。



最後までお読みいただきましてありがとうございました！

タイの企業を詳細に解説した

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

「タイ株完全マニュアル企業情報編4 1 社」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990500/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイ株取引をどうやって始めるかを解説した

「タイ株完全マニュアル口座開設改訂版」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990551/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイで働いた経験やタイビジネスをまとめた

「タイビジネスは止められない」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4778200527/asianstocktha-22/ref=nosim>

そして

タイの企業をデータよりもその背景を解説した

「日本人が知らなかったタイ株」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之

TOSHIYUKI ABE

Managing Director

ASEAN JAPAN CONSULTING Co.,Ltd.

TEL 001-66-81441-2303 (Direct Call)

JP

JP

+81 5055395053

Call

1 (I P 電話)

E-mail abe@thaikabu.net

(今後は電話でもメールでも受付いたします。)

Blog <http://toatoa.jugem.jp/>

Homepage <http://www.thaistock.jp>

<http://www.newsclip.be/blog/kabu/>

ニュースクリップにてブログ連載中です。

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

<http://worldinvestors.jp/>
ワールドインベスターズにて
タイ株初心者コミュニティ管理人です。
http://www.adc-thailand.com/j-concierge/Thai_Kabu.html
ADCタイランドにて
タイ株の解説しています。
<http://www.panrolling.com/blog/index.html>
パンローリングにて著者の会ブログに参加しています。
<http://asiamoney.mag2.com/>
まぐまぐ新興国株特集のブログも参加しています。
□□□□□□□□■□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
メールマガジン 『日本人の98%は知らないタイ株投資!』

発行責任者: TOSHIYUKI ABE
※公式サイトはこちら → <http://toatoa.jugem.jp/>
Copyright (c) 2003-2008 Toshiyuki Abe. All rights reserved.
□□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□